

第16回 ケアポート・田谷祭り2019 ～田谷の雨から田谷の陽へ～

10月らしからぬ暑さが続いておりますが、お健やかにお過ごしでしょう

か。今年もケアポート・田谷の年間行事で一番大きなものとなります
「田谷祭り」が開催されました。昨

年は台風の影響により残念ながら中止となり、この記事も昨年は～田谷の雨～というタイトルをつけたことを記憶しています。今年こそは晴れる様にと祈っておりましたが、当日の朝まで予報は雨、私が出勤する時間も道路は濡れている状態...今年も雨になってしまったのかと半ばあきらめておりました。しかし！皆様の願いが通じたのか設営準備の段階から雨雲も無くなり、見事なまでのお祭り日和となりました!!延期することが難しいこともあります、よほどの大霖でなければテントや屋台の並びに配慮して、なんとか実施できる様にと考えていましたが、最後まで雨は全く降らずにフィナーレの花火も2年ぶりに打ち上げることができました。参加された皆様にはちょうど良い天気になったのではないかと思います。

毎年改善を加えながら、少しでもご利用者にお祭りを楽しんで頂ける様に準備をしてきました。今年で3回目の披露となる職員バンド「ケアポケッツ」♪昨年は雨天の為、急遽屋内での演奏に変更したのですが、考えていたよりもご利用者が集まりやすかったりと好評でした。そこで今年は天候に関わらず屋内で演奏する様に予定を組みました。また、屋台が始まる前に各フロアで演奏し、その後ゆっくりと屋台

での食事を召し上がって頂ける様にプログラムを変更しました。同様に写真撮影についても午前中から撮影を始めていたので、1Fの撮影スペースの混雑が緩和され、ご家族との撮影が例年よりスムーズにできたのではないかと思います。

反省点としては、毎年屋台の食事提供量については例年の売れ行き具合を参考に準備するのですが、今年はここ数年になくくらい売れ行きが良く、焼きとりが売り切れになってしまったり、飲物を数種類急遽買い足してなんとか乗り切りました。過去には多く用意したもののが大量に残ってしまったこともあり、予想が難しいのですが、残念ながら食べることができなかつたご利用者やご家族には大変申し訳なく思います。

毎年たくさんのご家族の参加とボランティアの方の協力のもと、田谷祭りが開催できることを心から感謝しております。これからもケアポート・田谷をご利用頂いている皆様に、楽しい時間や思い出を提供できる様に職員一同精進して参りますので、今後もよろしくお願ひいたします。

田谷祭り実行委員長：橋和豊



田谷祭り2019

今年は9月29日(日)に恒例の田谷祭りを開催致しました。前日までの天気予報では雨予報でしたが、

当日は雨も降らず、天気に恵まれ、ご家族の方々も大勢で来所して頂き、屋外で賑やかに開催することができました。

お祭りの最初は、職員で結成された「ケアポケッツ」による演奏から始まりました。「お嫁において」「時代」「上を向いて歩こう」などを披露すると、会場は拍手と熱気に溢れ、大いに盛り上がりました。

その後、お待ちかねの屋台です。カレーライス、焼きそば、揚げタコ、フランクフルト、おでん、どれを選ぼうかと迷ってしまうくらいです。ご利用者はご家族や職員と屋台に行き、屋台の食べ物を美味しそうに召し上がってました。

お祭りの最後は花火で、ご利用者の「すごいね」という歓声で派手に締めくくりました。

限られた時間での祭りでしたが、ご利用者から「楽しかったよ」「美味しかったよ」との言葉を頂き、心から嬉しくなりました。来年も楽しいお祭りが出来るように頑張っていきます。

2階介護：王



笑いあり 楽しく



今年は、元号が平成から令和に変わり、初めての敬老会となり、デイケアや2階及び3階のご利用者が参加され、9月14日(土)に盛大に開催されました。米寿6名白寿1名、百歳以上1名と計8名の方をお祝いする事が出来ました。職員からのお花の贈呈で



は皆、満面の笑顔が見られていました。その後は、今年も栄桂太鼓による演奏が披露されました。演奏の迫力に最初はご利用者の皆様も驚かれていましたが、演奏が終わる頃には、皆様盛大な拍手をされ喜ばれていました。

最後に職員主催の「箱の中は何だろう？」等のゲームにご参加頂き、またシ



ヨートマジックをご覧いただき笑い笑顔が見られ楽しいイベントとなり、とても良い雰囲気の中終わりました。

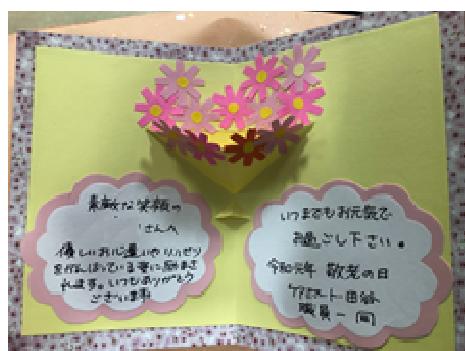
これからも毎年この会をご利用者が、楽しく・笑顔で迎えられるよう、職員一同日々頑張っていきたいと思っています。

デイケア敬老会

3階介護：阿久根



デイケアの敬老会は、日頃の感謝と、ご長寿のお祝いとして田谷祭りの壁画の背景画を描かれている職員「佐久間栄一歌謡ショー」を毎年行っていましたが、今年は新元号の「令和」初の敬老会ということで新たに2人の職員を加え、3人のとても美しい歌声がデイフロアに響き渡りました。毎年ご利用者に写真のプレゼントをお贈りしてきましたが、こちらも令和初のプレゼントとして、ご利用者一人一人にデイ職員チームが一体となり、真心のこもった手作りのカードを作成しお贈りしました。



ケアポート田谷の目標である「利用者の方々一人一人を大切にし、真心のこもった施設を目指します」「職員同士がお互いを信頼しあい、チームワークに満ちた施設を目指します」「地域の皆様にとって、心の支えとなる施設を目指します」をモットーに、今後もご支援させて頂きますので宜しくお願い致します。



通所リハ介護：小川

祭りの壁画はデイにお任せ！

年に一度の田谷祭り！

降雨の予報ではありましたが、皆様が待ち望んでいたお気持ちが天に届いたのか、曇りどころか見事に晴れとなりました。昨年屋外で行えなかった分、今年は思いっきりお祭りを十分楽しめたのではないでしょうか。

さて毎年田谷祭りで2階3階のご利用者が記念撮影される背景画はデイケアのご利用者の作品であり、今年のテーマは「収穫の秋」でした。きのこ、柿、桃、ブドウ、どんぐりなどを、折り紙を切りダンボールに貼って作りました。「どうしたら美味しいように見えるのかな」「こんな大きな桃があったらいいな」など作業中に色々な会話が飛び交っており、楽しみながら取り組まれていました。手指のリハビリも兼ねての集団作業ではありますが、田谷祭りの特大壁画に取り組む事は、今や私達デイケアの風物詩になっております。今年の「収穫の秋」壁画の仕上がりはいかがでしたか？過去の田谷祭りで撮影された壁画が現在も施設1階に飾られていますので、ぜひ合わせてご覧いただけたらと思います。



通所リハ介護：小川

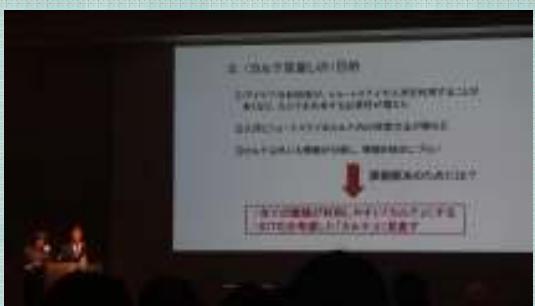
発表演題

ICT活用に向けた初めの一歩

去る6月1日、第17回横浜市介護老人保健施設研究大会がパシフィコ横浜にて開催されました。今年は、「業務改善」をテーマにカルテ（診療・看護・介護の経過等を記録した文書をファイリングしたもの）の見直しについて、各部署（通所、2F、3F、看護）の代表を中心としたプロジェクトチームを立ち上げて実施したことを発表しました。ご協力いただきました皆様にこの場をお借りし感謝申し上げます。



はじめに発表演題の「ICT」という言葉ですが、これは Information and Communication Technology（情報通信技術）の略で、コンピュータやネットワークのような通信技術を利用したサービスの総称です。現在、介護の職場でもICT化は進んでおり、私どもの施設では事務関連は「介護報酬の請求業務」や「ケアプランの情報管理」等でICT化を進めてきました。しかし一方、介護現場のICT化はまだまで、各部署の情報共有は基本「紙ベース」で行っています。そのため、介護現場のICT化を模索してきましたが、導入・運用の費用や職員教育等の問題点が浮き彫りになりました。このような状況下「カルテが使いづらい」という職員の声が聞かれるようになつたため、ICT化を考慮したカルテへと見直すことにしました。



見直すにあたっては、各部署の代表を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、①カルテの利用状況、②職員のICTに関する知識等を把握するためアンケートを実施し、その結果をプロジェクト内で考察し、カルテの見直しを実施しました。現在、見直したカルテで運用を行っています。

介護老人保健施設の介護現場のICT化は、「（診療・看護・介護等の）データの収集・分析によるご利用者への介入の効果や介入の改善度を把握し、（医師・看護職・介護職・リハビリ専門職・栄養士・施設ケアマネ・相談員等の）多職種が連携しながら仕事を進めることにより、業務の効率化やよりよいサービスを提供すること」が期待できるとされています。

また、現在政府でも「介護現場の生産性を飛躍的に高めるため、ICT化を徹底推進する」という方針を打ち出し介護現場のICT化を後押ししています。

私たちの施設でも今回の「カルテの見直し」を「ICT活用に向けた初めの一歩」とし、「介護現場のICT化」が利用者様にとってもより有益なものとなるよう、一層推進していきたいと思います。



支援相談員 藤本直也

